

# ばれっと

2012  
3月  
No.151

まだ\*これ 合併号

## ●目次

- P2~3 復興支援活動をつなぎ支えるNPO
- P4~5 速報 フューチャー☆ナイト
- P6 市民活動サポートセンターからのお知らせ

## ともに、前へ！仙台

### 東日本大震災 特別号⑫

2月25日(土)に、フューチャー☆ナイトを開催しました。サポセンの交流サロンで活動する学生団体に集まっていただき、活動紹介と情報交換をしました。普段じっくりお話する機会が少ないサポセンスタッフも団体の皆さんの輪に入り、一緒に参加しました。

若者たちの「やる気のある人と出会いたい」「学びあい、高めあいたい」という思いと、サポセンの「団体同士が連携することで、より成果のある活動をしてもらいたい」という思いをすり合わせてつくった場でした。

「継続的に開催してほしい」という声もあり、サポセンでは今後も交流・連携が生まれる場づくりをしていこうと思っています。



▲各団体の活動内容を紹介する模造紙を作成。参加者同士、質問をふせんに書いて貼り出しました。

## 東日本大震災 ～その時～

# 復興支援活動をつなぎ支えるNPO

## 東北の復興のため、支援したい団体と支援を受けたいNPO等の活動をつなぐ 「地域創造基金みやぎ」

未曾有の大地震と大津波、そして原発事故に見舞われた東北の地。震災からの復興を推し進めるためにも、市民、住民による参加・協働型の持続可能な地域づくりが必要と考え、新しい資金の流れを作り出すことを目的とした「地域創造基金みやぎ」（通称：さなぶりファンド）が創設されました。

母体となったのは、震災前からNPOや市民活動団体が必要とする様々な経営資源を仲介提供する「サポート資源提供システム」を運営していたNPO法人せんだい・みやぎNPOセンターでした。2011年5月11日と震災後比較的早い時期に公益財団設立準備室を立ち上げ、全国から発起人を募り支援金集めに奔走しました。

その結果、331人の発起人が名前を連ね、一般財団法人設立に必要な資金300万を上回る、474万円が寄付金として集まり、6月20日の法人設立登記へと至りました。「せんだい・みやぎNPOセンターを母体として発足したことで、多くの皆さんの信頼を得られたと思います」と、常務理事の鈴木祐司さん。予想を超えた反響と、団体同士そして人と人とのつながりによる支援の輪の広がり、改めて感謝したそうです。

### ●地域活動のために寄付金を集め、 地域に根差した活動を支援

法人設立準備と並行して、資金提供の受け皿を求めているイギリスの団体から助成事業の企画・実施に関する相談を受けていました。海外の支援者たちは、時差や言葉の壁のある中で、集めた寄付金をどう使えば被災地に有効なのかという情報が十分ではありませんでした。海を越えた東北の被災地において、寄付金を中立的な立場で調整し、一緒に活用の道を探ってくれる地域創造基金みやぎの存在は大変重要なものだったのです。

この相談を通して生まれたのが、現在実施している「ジャパン・ソサエティ東日本大震災復興基金～ローズファンド～」。被災地のニーズに添った中長期的な復興支援活動をサポートするため、被災地に根づいた活動を続けるNPO等の活動に対して助成を行っています。

### ▶ 常務理事の 鈴木祐司さん



そしてもうひとつ、子どもたちのための国際NGO、公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンとの協働事業である「こども☆はぐくみファンド」は、被災地における子ども支援を行うNPO等に向けた活動支援です。

助成の際には、応募団体から事前相談を受け付け、団体の課題やリソースなどの棚卸しをしながら、助成金を使って行う事業が中長期的な活動に結びつくよう考えていくのだそうです。助成の規模によって書類審査だけではなく、直接現地に訪問しヒアリング調査を行っています。

### ●地域を創造し、地域の人々が資源になる

このように地域創造基金みやぎでは、資金提供者と一緒に作った助成や融資のプログラムを、助成団体の成長と基盤強化につなげ、ひいては地域の課題の解決や改善に役立てようと考えています。財団からの支援によって実施された団体の活動の成果を、地域に経験や智恵として蓄積し貴重な財産にしていこうというのです。

震災後、お金の支援は、物が動き、行動が起こり変化するきっかけとなりました。地域の発展のため、お金が活きる新しい流れをつかっていきたいという「地域創造基金みやぎ」。その名前が示すとおり、これから復興後の地域社会をどのように創りあげていくのかが問われ、その働きに大きな期待が寄せられています。

（葛西淳子）

#### 一般社団法人 地域創造基金みやぎ

【連絡先】〒980-0804

仙台市青葉区大町1-2-23桜大町ビル303

TEL : 022-748-7283

FAX : 022-748-7284

【E-mail】 [admin@sanaburifund.org](mailto:admin@sanaburifund.org)

【HP】 <http://www.sanaburifund.org/>

## 被災地支援から、「被災された方が主役の復興」へ みやぎ連携復興センターの復興チャレンジ塾

### ●みやぎ連携復興センターとは

みやぎ連携復興センター(れんぷく)は、震災発生直後にNPO法人せんだい・みやぎNPOセンターの呼びかけで、宮城県内のNPOと支援団体\*1により設立されました。

当初は全国からの物資や、救護専門家などを避難所や被災者をつなぐ役割を果たし、現在は「地域主導の自律的な復興とまちづくりの実現」を目的として、せんだい・みやぎNPOセンターの特別事業部門として活動しています。

\*1(認定NPO法人ジャパン・プラットフォーム、公益社団法人仙台青年会議所、一般社団法人パーソナルサポートセンター、被災者をNPOとつないで支える合同プロジェクト、NPO法人せんだい・みやぎNPOセンター) ※順不同

### ●復旧期における活動

震災から1週間後の3月18日にれんぷくは発足しました。当初は、政府や県、自衛隊、NPO/NGO、その他の自治体などとも連携しながら、支援団体間の連絡と調整を行う機能を果たしました。避難所のアセスメント(調査)を通じて把握したニーズに対し、全国から寄せられた物資・人材のマッチングをする活動を、被災者が避難所から仮設住宅に移り始めた6月頃まで展開していました。

### ●「被災された方が主役の復興」を支える

緊急性の高い支援の必要性が少しずつ減少し、被災地のフェーズが復旧から復興へと移行しつつあった7月、れんぷくでは復興に向けたビジョンを新たに策定しました。大きなテーマは、「被災された方が主役の復興」です。

未曾有の規模の被害をもたらした今回の震災においては、復興までの道のりは非常に長いものとなります。被災された方自身が主役となって復興に取り組むことが、そのまま中長期的なまちづくりにつながるという信念のもと、三つの活動の柱をたてました。

### ●「はぐくむ」事業について

れんぷくの活動には、支援団体・被災者同士の連携や官民の担い手の協働の場づくりに取り組む「つなぐ」事業、被災者のチャレンジを応援して復興につなげる「はぐくむ」事業、被災地と被災

者の現状をなるべく正確に調査して把握する「しらべる」事業の三つの柱があります。

「はぐくむ」事業は、被災した市民の復興につながる市民活動の応援(復興チャレンジ塾)から、地域に新たに雇用を生み出す起業家の育成(創業塾)まで、幅広い支援に取り組みます。2012年度の復興チャレンジ塾では、1プロジェクトあたり10万円の活動応援金で年間40プロジェクトを応援。創業塾では、起業家一人あたり300万円を助成し、2人の起業家を育成する計画です。

「現在れんぷくでは、この「はぐくむ」事業へ賛同して下さる方のご協賛をいただくことを検討しています。被災された方自身のチャレンジを応援したい!と思った方は、れんぷくホームページ(下記参照)にご注目ください。随時更新して呼びかけていこうと思っています。「被災された方が主役の復興」へのご支援を、どうぞよろしくお願ひ申し上げます」と、事務局長の佐野哲史さん。これからの、れんぷくの活動に注目です。

(藤原 航)



▲ 頼りがいのある事務局長の佐野哲史さん  
(れんぷくの事務局にて)

#### みやぎ連携復興センター

【代表者】 紅邑 晶子

【連絡先】 〒980-0804 仙台市青葉区大町1-3-7  
横山ビル6F

TEL:022-748-4550 FAX:022-748-4552

【E-mail】 info@renpuku.org

【HP】 <http://www.renpuku.org/>



2月25日（土）開催しました!!

# フューチャー☆ナイト

テーマ：若者

年間約600もの市民活動団体・NPOに活動拠点としてご利用いただいているサポセン。若者からシニアまで、非常に幅広い世代が訪れ、団体の活動分野も多岐にわたります。

東日本震災以降、復興に向けてますます団体間の連携が必要とされている現状を受け、サポセンでは、利用団体同士がお互いを知り、交流のきっかけとなるような場をつくることで、連携を促進しようと考えました。そこで今回は、若者を対象とした交流の機会として「フューチャー☆ナイト」を開催しました。

★事前打ち合わせ★ 4団体7名にご参加いただきました

1月26日（木）、サポセンのフューチャー☆ナイト担当スタッフと学生団体とで、企画内容について意見交換。「どのような場にしたいか」をお聞きし、当日のプログラムを練りました。



★当日の様子★

## ★団体紹介

活動内容・活動を始めたきっかけ・フューチャー☆ナイト参加理由をふまえつつ、4分間で団体のPRを行いました。



## ★情報交換&交流タイム

飲み物やお菓子を食べながら、自由におしゃべり。同年代なので、すぐに打ち解けたようです。



また、他団体への質問等をふせんに書いて、団体紹介の模造紙にペタリと貼ってもらいました。その後、自分の団体に寄せられた質問の中から、2つ選んで答えてもらいました。

## ★質問と回答（一部をご紹介します）

Q：長く活動が続く秘訣は？

A：人から人へと、どんどんつながり、仲間が増えました。

Q：引継ぎで工夫していることは？

A：継続意思の確認をする。引継ぎのため、資料はしっかり保管しています。

Q：人数が少なくて大変だったことは？

A：やりたい企画がたくさんあるのに、人がいないのでできないこと。他団体と連携できれば解決できるかもしれないと思います。

この他にも、「団体名の由来は？」「次のイベントはいつ？」といった質問や、「自分たちのイベントに参加してほしい」「こういう団体を知っていたら紹介してほしい」というお願いなどもありました。

## ★参加団体の声（アンケートより一部をご紹介します）

「多くの学生団体が活動していることが、改めてわかった」

「もう少し交流時間がほしかった」

「視野が広がり、いい刺激を受けることができた」

## ★参加団体紹介★

11団体24名にご参加いただきました

### ■NPO法人POSSE仙台支部

- \*労働問題解決のため活動している。
- \*震災後は「日常サポート型の復興支援」をコンセプトに、復興支援事業にも取り組んでいる。
- \*送迎事業：現在、仙台市内5ヶ所の仮設住宅にて、無料送迎バスを運行。
- \*就学支援事業：仮設住宅に住む子どもに勉強を教えている。
- \*制度利用支援事業：り災証明申請や生活保護申請に同行し手続きをサポート。

### ■ReRoots

- \*農家さんとの交流・支援：農地の復旧支援、農作業支援、ReRootsファーム。
- \*地域に根付いた活動をし、ともに若林区を盛り上げていくイベント企画（芋煮、子ども映画会など）

### ■復興TV

- \*ボランティアをしている団体を撮影し、YouTubeにアップしている。
- \*アップすることにより、ボランティアしたい人と団体をつなげる。
- \*参考になるような情報を記録し残す活動。

### ■NPO法人ドットジェイピー

- \*大学生に議員の下での社会体験、議員インターンシップを提供。議員という、自分の理想に向かって日夜戦う存在と行動を共にすることで学生の人生観に大きな衝撃を与えている。

### ■@plus

- \*被災地での泥かきボランティア活動（ReRootsの活動にボランティアとして参加）。
- \*ごみ拾い・献血。

### ■みちのくYOSAKOI THE!! 駆波”乱

- \*10月に開催される「みちのくYOSAKOI祭り」を盛り上げる事を目標として、日々の練習に励んで

いる。福祉施設への慰問活動や、小学生に踊りを教えている。

### ■ボランティアインフォ

- \*ボランティア希望者とボランティア団体をつなぐ活動を行っている。
- \*web上でボランティア募集情報データベースの運営：Yahooなど各種ポータルサイト等にボランティア募集情報をAPIで提供。
- \*2011年8月末まで仙台駅でのボランティア情報案内所の運営を行った。

### ■NPO法人ハーベスト ハーベストタウン

- \*キャリア支援を行う団体「ハーベスト」のラジオチーム。ハーベストに登録されている市民講師の方を毎回ラジオにゲストとしてお呼びし、学生のキャリア支援につながるトークをする。

### ■EN-dex (いんでっくす)

- \*キッカケや選択肢を増やすため、さまざまなことを企画、実現していく。
- \*学生ボランティアを増やすため、他のNPOと協力し、「bosco」という団体を設立。亘理町で仮設住宅の支援を行う。
- \*学生団体という選択肢に気付いてもらうため、学生団体合同説明会開催。
- \*就職という漠然とした不安をなくすため、夏に就職セミナー開催。
- \*学生がもっとイベント情報をキャッチできるよう、メーリングリスト「ガクメル東北」管理。

### ■SYCふらっと

- \*「何かしたい」学生と、NPOをマッチングするイベント「情報屋台村」を運営している。
- \*現在、商店街を盛り上げるフリーペーパー発行企画が進行中。

### ■HearthH

- \*東南アジアの発展途上国の子どもの教育等について「何かできないか」と、2011年7月に結成。
- \*スタディツアーに参加して、その経験を活動に活かそうとするメンバーもいる。国内での子ども支援も検討中。

## ★担当スタッフより

「定期的な学びあいと成長の場がほしい」「やる気のある人と出会いたい」・・・今回のフューチャー☆ナイトを企画するにあたり、事前に行った意見交換会では、若者からこんな想いをいただきました。そして、多世代・多分野の団体が利用するサポセンだからこそ、このような若者の想いを、後押ししていくことができると思いました。

次年度以降も、今回のような「つながる場」をサポセンはつくっていきたいと思います。きっかけさえあれば、お互いを知りつながることができます。「きっかけはサポセン」と言われるような、場づくり・機会づくりを心がけていきたいと思いました。



ありがとうございました!!

# 市民活動サポートセンターからのお知らせ

## ●震災復興支援活動の記録冊子を発行します

東日本大震災発生直後より、被災地となった仙台市内各地で多くの市民活動団体・NPO等が、復興支援活動を行っています。被災地・被災者のニーズや復興の段階に合わせて、形を変えながら行われてきているこれらの復興支援活動は、今後の災害支援活動への大きなヒントとなると考えられます。

そこでサポートセンターでは、市民活動団体・NPO等が行っている復興支援活動を記録した冊子を作成し、発行します。冊子は、サポートセンターで無料配布するほか、震災復興に関わる諸機関、全国の市民活動支援施設などへお届けする予定です。

震災後の社会全体の流れや、仙台市・サポセンの動きを年表形式&トピックスで紹介するページもあります



## ●つなぐ・つながる 相談・交流スペースが充実

サポセンでは、復興まちづくり活動への支援を強化することを目的として、3階を復興支援活動や市民活動、シニア活動、学生のボランティア活動を促進するための情報交換・相談・交流スペースへリニューアルします。(研修室1、2はこれまでどおりご利用いただけます)

また、まちづくりなど市民活動を行っている団体や自治会などの皆さん、個人による社会貢献を行っている方、復興活動を支援したい企業や個人の方が気軽に情報交換できるサポセンサロンも定期的に開催します。

平成24年度から仙台市内にのみ事務所を置くNPO法人の認証窓口が仙台市になります。NPO法人の取得を目指している団体からのご相談はもちろん、様々な市民活動に関するご相談もお受けしますので、スタッフまでお気軽にお声がけください。

- ・ご相談内容 団体運営(組織運営、会計、広報等)  
法人格の取得(NPO法人を含む)  
シニア活動  
学生・社会人による社会貢献  
企業のCSRに関すること  
助成金獲得に関して など

### ■ 仙台市市民活動サポートセンターとは

さまざまな分野の市民活動団体やNPO、ボランティアなど、非営利で公益的な活動をしている人たちや、これから活動しようと考えている人たちのための拠点施設です。

#### ■ 案内図



○ご来館の際は、公共交通機関をご利用ください。

[最寄のバス停] 電力ビル前、商工会議所前

[地下鉄] 広瀬通駅下車、西5番出口すぐ

○当施設に駐車場・駐輪場はございません。お車や自転車で来館される方は、周辺有料駐車場・駐輪場をご利用ください。

注) 路上駐車・駐輪は、周辺の迷惑となりますのでおやめください。

#### ■ 開館時間

○平日 / 午前9時～午後10時

○日祝 / 午前9時～午後6時

### ■ シニア活動支援センターとは

シニア活動支援センターは、シニア世代の地域・社会参加活動を応援しています。お気軽にお問合わせください。

○開館時間 平日 / 午前10時～午後8時  
日祝 / 午前10時～午後6時

○休館日 毎週水曜日

#### ■ 編集後記

東日本大震災から一年が経ちました。ここ仙台で活動する多くの市民活動団体・NPOは、今日も復興まちづくりの重要な担い手として支援活動を展開しています。サポセンは、復興支援活動のサポート拠点として、引き続き復興支援活動に関する情報収集・発信、ご相談に対応しながら、皆さんとともに復興まちづくりに取り組んでいきます。(スタッフ一同)

#### 発行: 仙台市市民活動サポートセンター

〒980-0811 仙台市青葉区一番町四丁目1-3

TEL:022-212-3010 FAX:022-268-4042

ホームページ <http://www.sapo-sen.jp>

発行日: 2012年3月11日

編集: 特定非営利活動法人 せんだい・みやぎNPOセンター

編集人: 小松州子 菅野祥子 太田貴 葛西淳子

#### ●復興支援活動情報ブログ

<http://blog.canpan.info/fukkou/>

### 3月の休館日

第2水曜日 3/14

第4水曜日 3/28



仙台市市民活動サポートセンターは、特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンターが仙台市の指定管理者として、管理運営を行なっています。[指定管理期間: 2010年4月1日～2015年3月31日]